

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 7月27日更新

事務事業名	母子保健推進員設置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 安武 祐次
計画	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	健康づくり推進課	担当者名 久保園 郁子
体系	基本事業	59	相談支援体制の充実		所属班	健康推進班	(内線) 2133
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : ③
	一般	4	1	6	10609		コスト削減優先度評価結果 : ①
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・行政と子育て中の親とのパイプ役として、母子保健推進員を配置。乳幼児健診等で、母親が安心して受診できるように一緒に来た子どもさんのお世話をします。 ・健診対象者が増加し、また、対象者の兄弟と一緒に来ることが増え、保護者自身がゆっくり健診時に相談ができない状況が出てきたため、合併を機に健診会場での子どものお世話をすることになった。 ・合併前は、旧西合志のみに設置しており、妊婦及び経産婦とその赤ちゃんの訪問を実施していた。平成18年度より、健診時に一緒に来た子どもさんのお世話をすることになった。また、19年度途中より、母子保健推進員の人数が、9人から17人に増加した。平成20年度より20人、平成23年度は12人となった。平成23年度末に3人辞退となったが、平成24年度新規3人に委嘱し、12人での活動となる。
【業務の流れ】	広報・チラシを配布し、母子保健推進員を募集。2年に1度委嘱状交付を行い、年に2回会議を開催する。健診等へ出てもらうための、日程の割り振りを行う。4半期に1度、謝礼の支払い。
【主な予算費目】	報償費・旅費(費用弁償)・役務費(通信運搬費)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・母子保健推進員より、「たくさんの子どもたちに接することができてうれしい」「こんないい事業はお母さんたちにどんどん周知したほうがよい」 ・健診対象者より、「母子保健推進員さんのことを聞いていたから、今日の健診に上の子ども連れてくることができました」「母子保健推進員さんが子どもをみてくれたから安心してマタニティ学級(健診)に参加することができました」との声が多い。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
母子保健推進員 12人 会議開催数 2回 健診等への参加(1回の健診に2~3人)	平成23年度と同様に活動予定。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 母子保健推進員の人数 人	乳幼児健診等時の母子保健推進員出勤回数の減による報償費の減。
イ: 健診等へ参加した母子保健推進員の延べ人数 人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
母子	→ ア: 4カ月・7カ月・1歳半・3歳児健診の対象者 人
	→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
安心して健診等を受診でき、保健指導等をしっかり聞けるようにする。	→ ア: 健診の受診率 %
	→ イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込	
① 活動指標	ア 人		19	13	12	12	12	12	12	12	
	イ 人		216	252	250	212	240	240	240	240	
② 対象指標	ア 人		2,433	2,520	2,550	2,616	2,550	2,550	2,550	2,550	
	イ										
③ 成果指標	ア %		96.9	97.28	98	97.6	98	99	99	99	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	250	251	259	241	251	251	251	251
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	6	0	6	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	106	380	0	326	172	172	172	172
(B) 人件費計	千円	421	1,565	0	1,316	708	708	708	708		
トータルコスト(A)+(B)	千円	671	1,816	259	1,557	959	959	959	959		

事務事業名	母子保健推進員設置事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	-------------	-----	-------	-----	----------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 乳幼児健診の受診率は前年度より増加しているが、目標値までは達していない。理由としては、母親だけでなく、他の家族も健診に同席することが多くなったこと、マタニティ学級では、参加する子どもの数によって、母子保健推進員の人数調整をしていることが考えられる。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 状況によって、活動が変動するため、目標達成するかははっきりしないが、活動の内容は、今後もさらに充実させていく。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 平成22年度は1回の健診等につき、2~3人の配置であったが、平成23年度は基本的には2人の配置を行い、必要に応じ活動人数の調整を行った。さらに安心して、健診等が受けられるようにする。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似した事業はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最低限の報償費で活動をしていただいているため。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最低限の人件費で活動をしていただいているため。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 母子保健推進員は健診事業等に参加しているため、参加者は誰でも利用できるため、公平公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

目標達成についての評価はこの活動だけでは困難である。乳幼児健診等、関係ある事業との全体的な検討が必要。
---

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						